

# テレワーク(デジタル人材育成)推進事業【岡崎市】

個別事業費	3,318 千円
交付金額	2,230 千円

## 地域の実情と課題

本市における女性の労働力率は全国平均と比べて低く、全国よりも深いM字カーブとなっている。女性が就労を継続するためには働き続けられる環境整備やニーズに沿ったスキル習得が必要である。

これに対して、本市では令和元年度からテレワークによる就労支援事業を行ったところ、市民ニーズが非常に高く、本地域における女性就労支援としてテレワークは有効的であることが分かっている。女性が就労を継続するためには、女性と事業者の双方に柔軟な働き方を推進し多様な労働モデルを提示する必要がある。

## 事業の特徴

① **テレワーカー育成事業**  
 テレワーカーとして必要不可欠な知識・スキルを学ぶ基礎セミナーだけでなく、テレワーク業務として需要の高い複数の専門業務を学ぶ専門スキルセミナーを実施。また、市内事業者を始めとした事業者とのマッチングイベントを合わせて実施することで、女性のテレワークでの就労支援を図った。

② **テレワーカー就労継続支援事業**  
 ①で育成した女性の就労出口の1つとして官民連携のスキームを構築し、テレワーカーの課題の解決及びテレワーカーとしての就労支援を実施。

## 事業の効果

事業実施後のアンケート調査結果から、女性のテレワーカーとしての就労ニーズは高く、本市における女性の就労形態としては非常に有効的であることがわかった。

就業調査：セミナー等参加女性の就労率：30.1%

## 目的・目標

【目的】  
 女性を対象に、テレワーカーとしての育成と就労支援を行い、eラーニングを活用することで時間や場所にとらわれず効率的に女性のスキルアップを図る。また、自営型及び雇成型テレワークでのビジネスマッチングを行うことで、女性のテレワークでの就労を支援するとともに、市内事業者における労働力不足の解消を図る。

【目標】  
 ・セミナー等の延べ女性参加者数：210人 →429人  
 ・セミナー等参加女性の就労率：45% →30.1%

## 連携団体

- 岡崎市男女共同参画推進及び多様な性の尊重に関する審議会  
 岡崎商工会議所、連合愛知三河中地域協議会  
 岡崎信用金庫
- 愛知県
- あいちマザーズハローワーク
- ママ・ジョブ・あいち
- マネジメント中間事業者(官民連携の民間事業者)

## 今後の課題

女性がテレワーカーとして継続的に就労できるよう、ビジネスマッチングを継続的に行うとともに、女性が自立して働くための支援や、事業者のテレワーク可能な仕事の開拓を支援していく必要がある。

## テレワーク(デジタル人材育成)推進事業

テレワーカーとして働く際に活用できるデジタルスキルを習得し、家事・育児など家庭の事情に合わせて短時間勤務や在宅勤務など、多様な労働モデルを提示することで女性のテレワークでの就労支援とデジタル人材の育成を行う。

### 1 テレワーカー育成事業

#### (1) 基礎セミナー

##### ア テレワーク入門セミナー

eラーニングを活用し、テレワーカーとして働くための基礎能力を習得

日程: 9月2日～10月31日

申込・受講者数: 63名

##### イ テレワーカーのための働き方セミナー

テレワークの基礎的な知識や心構えを学習

日程: 9月26日 参加者: 34名



#### (2) 専門スキルセミナー

ニーズのあるテレワーク業務を学び、実務的なスキルを習得

◎画像編集コース 日程: 10月9,16,23日

参加者延べ: 93名

◎動画制作コース 日程: 10月22,29日,11月5日

参加者延べ: 101名

◎SNS運用コース 日程: 11月6,12,19日

参加者延べ: 80名



#### (3) ビジネススキルセミナー

eラーニングを活用し、社会人・個人事業主として必要な基礎知識等を習得

日程: 10月1日～12月6日

受講者数: 21名

#### (4) ビジネスマッチングイベント

テレワーカーを活用(検討)している事業所等とテレワークでの就労を希望する女性の自営型及び雇用型でのビジネスマッチング

日程: 12月6日

参加者: 51名

参加事業者: 12社



### 2 テレワーカー就労継続支援事業

継続的な女性の就労支援体制を整えるため官民連携のスキームを構築

◎事業協力協定締結事業者  
株式会社EGAO GROUP  
BPOテクノロジー株式会社

◎マネジメント中間事業者へのお問合せ件数 42件

